

「循環経済産業都市」 の実現に向けた参加型デザインのプロセス — さつませんだい — 鹿児島県薩摩川内市のケースから

九州電力川内原子力発電所が立地する鹿児島県薩摩川内市。2020年、「循環経済産業都市」の実現を将来ビジョンに掲げ、産官学民の協働による、暮らし・産業・環境が相互に関連して新たな都市形成を目指す取り組みを開始した。電源立地という特殊な状況を、都市の持続可能性を高めることで書き換えていく、プロジェクトの構想とロードマップについて、報告を行う。

報告者

田村 大 (株式会社リ・パブリック共同代表、九州大学 グローバルイノベーションセンター客員教授)



プロフィール

東京大学大学院博士課程単位取得退学後、博報堂に入社。デジタル社会の研究・事業開発等を経て、株式会社リ・パブリックを設立。欧米・東アジアのクリエイティブ人脈を背景に、国内外で産官学民を横断した社会変革・市場創造のプロジェクトを推進し、内閣府・経産省・環境省などで委員を歴任する。イノベーションスタジオ福岡の設立をきっかけに、2014年に福岡に移住。九州の文化・産業・自然の豊かさと可能性に惚れ込み、UNAラボラトリーズを設立。九州大学・北陸先端科学技術大学院大学客員教授を兼任。

コメンテーター

岡本 亮輔 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院)

司会

岩下 明裕 (スラブ・ユーラシア研究センター)

参加方法

下記アドレスにて参加登録をお願いします。

登録後に Zoom ウェビナーへの接続アドレスをお送りします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_WgxrPEgbTUIyaAe04Da59w

※ZOOMを使用したオンライン会議です。インターネット環境とPC、スマホ、タブレット等があればご自宅やオフィスからお気軽にご視聴いただけます。参加費無料。



参加登録フォーム

主催

人間文化研究機構ネットワーク型基幹研究プロジェクト「北東アジア地域研究推進事業」
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター拠点 (NoA-SRC)
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット (UBRJ)

共催

北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院

お問い合わせ: join_us@slav.hokudai.ac.jp (担当・岩下)